

N○.8

平成15年9月発行

静岡県老人福祉施設協議会

〒420-0856 静岡市駿府町1-70

静岡県総合社会福祉会館内

TEL 054-653-2311 FAX 054-653-2312

E-mail : sizurosi@vesta.ocn.ne.jp

# しづ老施協

## 卷頭言

### 自らで拓こう 次代の老人福祉施設



静岡県老人福祉施設協議会

会長 仲 亀 透

さて、介護保険がスタートして、はや三年経過しました。現在、介護保険のみならず福祉全般を取り巻く大幅な「福祉基礎構造改革」が着々と進んでおりますが、ただ公費負担削減と利用者負担増を伴う傾向にあることが、とても気掛かりです。

このようなかで、サービスを提供する者と受ける者が、いかに受け止め、いかなる将来設計を立てているのでしょうか。

「先が読めない」という言葉どおり、確かな見通しを立てにくい時ではあります。ただ流されてよいものではありません。

老人福祉施設は長い間、高齢者の安心を確保してまいりました。

老施協としては、培ってきた福祉、介護のプロフェッショナル集団としての誇りと自覚を持ち、何よりも「ニーズを反映した施策の実現」を世に働きかけていく時ではないでしょうか。

皆様には、平素より老人福祉施設協議会の健全な事業発展のため何かと御高配をたまわり、厚くお礼申し上げます。

また、昨年十一月には、石川嘉延県知事様はじめ多くの御来賓のもとに全国大会が盛会裏に開催できましたのも、皆様方の御尽力のたまものと深く感謝しております。ありがとうございました。

利用者による自己選択が介護保険の信条なら、利用者の望むサービス

を提供すべきであります。

そのためにも、静岡県老施協会員の一一致団結および全国老施協との連携によるアピールが、今までになく重要となつております。

もちろん、個々の施設にとりましては、経営管理および職員資質の体質改善を進める、いわば「介護の合理化」を進めることによつてサービスの向上と時代に則した事業展開を図っていくことが何より緊急の課題と考えております。

このような時機に、会員皆様方の信任により会長の重責をお受けした限り、先輩諸兄の御指導と御鞭撻を頂戴しながら、若手スタッフの育成、研修事業の充実、情報の発信等、重要な課題に率先して取り組んでまいる所存ですので、御理解、御協力の程、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

高齢者の世紀を迎える社会全体での取り組みが始まっています。

次代を見据え、会員の知恵と心を合わせ、社会の信託に応じうる二一世紀型の福祉・介護事業体を築いていこうではありませんか。



## IT化への取り組み

現在、IT（情報技術）は私たちの社会生活には欠かせなくなつた。IT社会の到来である。業務においても、これを便利なツール（道具）として活用していかなければならぬ。

県下の先進施設の状況をレポートしていただいた。

### ケアハウスのIT化は 入居者主体で

社会福祉法人 駿河会  
ラボーレ駿河

介護保険が無ければ、ラボーレ駿河のIT化がここまで進展することは無かつたでしょ。以前は、経理担当者がパソコン（以下、PC）を1台使用する程度で、他はワープロ機でこと足りていました。

在宅部門が、介護保険関連業務のためにPCを導入したことで、ケアハウスのIT化も一気に進みました。館内の各PCはLANに繋がっております。館内では、連絡事項の伝達やファイル共有が中心の運用です。カメラもデジタル化し、数分前のイベントの様子が、Web Pageに公開されています。

すと、情報公開の一方方法として利用しています。最近は掲示板中心の活動です。常連さんも増え、更新が滞っているとの指摘も・・・(?) 「効果・メリットは?」とよく聞かれますが、効果は「全国に理解者が増えたこと」でしょう(?) ラボーレの様子を知つてもらうことこそ意味があると考えます。

PCによる事務処理が進み、各種資料がデジタル化されると、既存のデータを基に経営試算ソフトが作成されました。職員の手によつて作られたこのソフトにより、ケアハウス単独でなく法人全体について、中期の試算が容易になりました。

IT化の波は職員に止まりません。共有スペースに置かれたPCで興味を持った入居者が数名、自分用のPCを購入し、カメラ好きの入居者はデジカメを購入しました。IT機器は、家族・職員・地域との新しいコミュニケーション手段として活躍しています。

Web Pageは遊び。固い言い方で  
サービス事業所で、記録のIT化に取り組んでいます。ケアハウス部門の、より積極的なIT化の企画は無いのですが、入居者からの質問に答える職員の様子を見ますと、「ケアハウスのIT化は、入居者が牽引する。」ということになりそうです。  
(記 IT対策本部 窪野利明)



## ケア記録の IT化にチャレンジ

社会福祉法人 三幸会  
特別養護老人ホーム 三幸の園

寮母室にパソコンが運び込まれたのは、平成十一年二月頃のことでした。その頃の介護スタッフは機械と言うだけで拒否反応を示す様子で全員が使用できるようになるには時間がかかるだろうと思いました。そこで当初はキーボード入力をしなくてもバーコードを作成しておけば入力が出来る方法を選択しました。主には、利用者一一〇名分の毎食の食事量、排泄の回数、入浴の有無などを入力していました。この頃の記録はデータをグラフ化して振り返ることが出来るのは良かつたのですが、内容が単調なものになつてしまい記録としては有効ではありませんでした。

その後、何度かのバージョンアップに伴ない、現在はパソコンの中に一人当たり三枚の記録があります。どのように使い分けるかは悩んだところでしたが、一枚目はケース記録、二枚目はケース記録中の医務室の記録のみ抜粋したもの、三枚目はケアプランの支援経過として使用してい

ます。施設内がLANで繋がっているため施設長、医務室、相談室、フロアーからも見ることが出来ます。面会に来られる度に一ヶ月分の記録を見せてくださいと言われる家族がいます。この様な時は記録を印刷しご家族に渡しています。

を見せてくださいと言われる家族があります。この様な時は記録を印刷しご家族に渡しています。

さらには利用者と共に過ごすゆとりの時間が大切だと言われます。パソコンに向かっていて、対応が遅れるのではいけません。

ローテーションのあるスタッフ間で情報の伝達、継続、記録をさらに正確で有効なものが作成できるようなシステム作りをしなければと思っています。  
(記 柴田知子)



壁掛けタッチパネルで  
各種のデータ入力

社会福祉法人  
芙蓉会  
特別養護老人ホーム  
みぎわ園

昨今、福祉施設では情報開示が義務づけられました。誰が、誰に、何時、何を、どのようにしたか、その様な日誌や詳細な記録の整理に費やす事務的な作業が多く、職務が煩雑となり、また職員に負担を強いているのが現状ではないかと思われます。

T化の焦点かと思われます。その中で最も対応面で苦慮することがヒヤリハット時のデータ整理であり記録等の情報提供であります。

当園では上記問題に対する試作としてNECのコンピュータ並びに福祉施設業務ソフトウェアとして「介護オーダリングシステム」を導入しました。このシステムは日誌、ケース記録、バイタルチェック、食事摂取、排泄、体調変化、身体介護、入浴、特記事項等の様々な日常の情報を介護ユニットの壁面に設置した壁掛けのタッチパネルより入力します。

また、セキュリティー対策は磁気カードを使用することにより入力履歴の管理及び部外者による不正入力の拒否を行い対応しております。

おります。

最も重要なのはタッチパネルによる入力が中心ですので介護者、看護者にとり入力し易くなっていることです。それによりデータのより細かな入力が短時間で可能なように配慮されております。



これらにより、当園では有意義な情報を短時間で見易く取り出すことを可能としており、職員の記録整理での負荷の軽減を図り、今後は更により一層のIT化への取り組みとして利用者のご家族様に広く情報開示をしていきたいと考えております。

# 我が施設のユニーク行事

どこでもやっているかも知れないが、我が施設ではこんな恒例行事がある。あるいは、初めてこんなことを行つた。そんな行事を県下各地からの発信です。



## よもぎ餅つき大会

日本一の清流『藁科川』。春になると土手には、沢山のよもぎが新芽を出します。入所者と職員が散歩の途中で摘み取り、4月中旬にはこのよもぎを使っての餅つき大会が行われます。合築の静岡市救護所とのよもぎ餅をお腹いっぱいいただきました。清流からふいてくる気持ちのいい風も手伝ってよもぎ餅つき大会は今年も大盛況でした。

(養護・静岡老人ホーム)



## コース料理

では、様々な介護予防活動が行われています。食事の役割も大いにあります。毎日が楽しくおいしい安全なサービス提供に努めていますが、人気のあるのがフルコース料理です。タリア、中華、地中海、フランス、海鮮、道産子、スペイン、ロシア、料理など、初めての食材、食事スタイルに出会い、皆さんから「今までで良かった」「死に土産ができた」等々の声が寄せられました。

(軽費・和松園)



## 夕涼み会

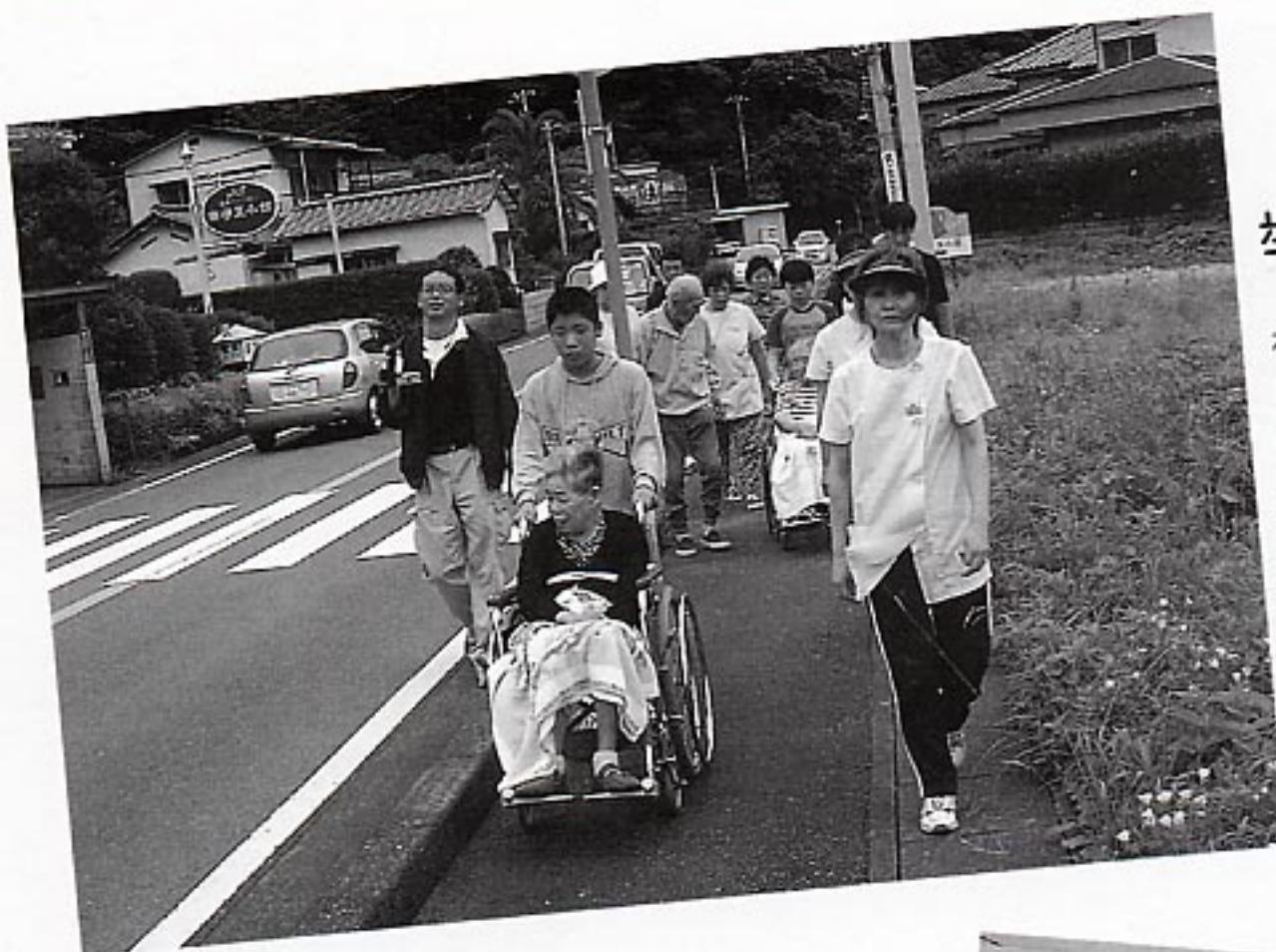
恒例の夕涼み会が、毎年7月末に行われます。当館は、御殿場十字の園併設施設として、平成12年10月にオープンした定員30名の施設です。夕涼み会の参加は今年で3回目になります。檜の上では、地元の青年団が太鼓を叩き、婦人会の踊りの輪の中に、入居者も加わります。「焼きそば」「綿菓子」「スイカ」などの模擬店もでます。後半は、花火が祭に彩りを添えます。真夏の夜、しばし熱さを忘れる楽しい一時です。

(軽費・御殿場アドナイ館)

## パチンコ

利用者の中でも男性の方が昔はよく行っていたとおしゃる方がパチンコです。さいわい、私の知り合いにパチンコ店を経営している人がいて、休業日を提供してくださり、店内大音響の軍艦マーチとともにチンジャラチンジャラと大いに盛り上がりました。帰りには、出た玉を景品に交換してもらい実際さながらの体験をすることができました。今後、年間行事としていくつもりです。

(特養・豊田一空園)

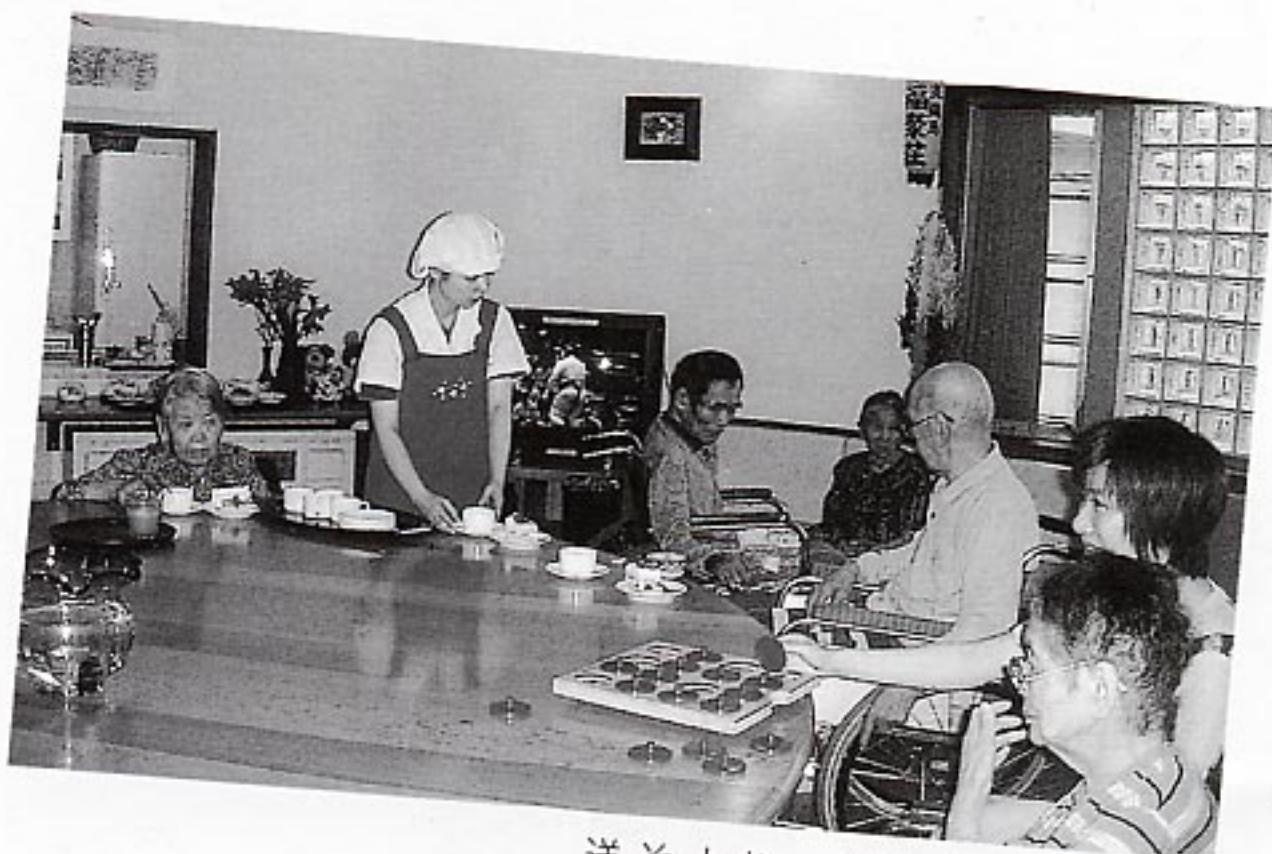


### 歩こう会

老人の体の健康と心の健康を維持するため『歩こう会』を毎月2回実施しております。特に2月には、もう桜が咲き、菜の花が綺麗な青野川河畔を元気な人も車椅子の人も一緒に歩き足腰の体力維持向上と新鮮な空気と広い景色で心身共にリフレッシュしております。園内の廊下ではいつかは外の歩こう会に参加しようとシルバーカーを支えに頑張っている老人を見て声援をおくっています。

今年の7月には修学旅行で福祉体験に都会から訪れた中学生と共に歩きました。やはり生徒に介護されて歩く姿はほのぼのとした温泉場の景色に似合います。

(養護・賀茂老人ホーム)



### 喫茶コーナー

施設利用者の、生活の質と、自立支援・向上の目的により、娯楽室の改修工事を行い、常設の喫茶コーナーを設置しました。コーヒー・紅茶・ジュース等を自由に選び、日常生活のひとときを、ゆったりと過ごしていただいております。

(特養・福聚荘)



### 秋祭り

毎年10月の第2土曜日、日曜日は秋祭り、恒例で地域の屋台（山車）5台が当苑に集合してくださる。利用者、入居者の喜びは大変なものである。太鼓や笛の響きで、子供の頃からの祭りの楽しい思い出が湧いてくるのである。

当苑でも地域交流の大重要な行事と位置づけ「おでん」「甘酒」「焼きそば」「豚汁」等をつくりお迎えする。揃いの法被で地域の子供、青年、老若男女が見えて、利用者、入居者の手を取り屋台（山車）につき、祭りは最高に盛り上がる。

(特養・おおすか苑)



フル  
当園  
きく  
中で  
イ  
沖縄  
「生き



### クリスマス忘年会

当施設では毎年、12月中旬にクリスマス会を兼ねた忘年会を行っています。30名の入居者を居室の並びで5グループに分け、その中から代表者を選び、ケアハウスの生活をより快適にするため、月1回話し合いをしています。忘年会は、そのメンバーが中心となって計画し、進行します。お酒も入り芸達者な利用者と職員が一緒に歌ったり踊ったり楽しい一日でした。

(軽費・ケアハウスしみず)

当社恒例の一泊旅行は、昨年の十一月に利用者二十三人と職員八人で東伊豆に出掛けました。かつらぎ山ではロープウェイが強風のため途中で止まってしまうトラブルがあつたが、夜の宴会ではお酒も入り芸達者な利用者と職員が一緒に歌つたり踊つたり楽しい一日でした。

職員の負担が大きな行事ですが、「また、来年も連れてつて」と利用者の声に今年も計画中。

(看護・北遠荘)

### 一泊旅行 利用者の迷演技



## ◆全国老施協予定◆

### ○ケアプラン基礎研修会

日程 十一月四日～五日

会場 大阪市

### ○ケアプラン習熟研修（施設編）

日程 十六年一月二十二日～

会場 千葉・幕張

### ○特養ケアを考えるフォーラム

日程 十一月十一日～十二日

会場 仙台市

### ○カントリーミーティング（関ブロ）

日程 十月九日～十日

会場 山梨県

### ○関東ブロック大会

日程 十月三十日～三十一日

会場 栃木県

### ●県特養部会研修会

※その他、詳細は全国老施協のホームページをご覧下さい。

### ○個別ケアへの取り組み

ユニットケアを中心に行なう

会場 静岡市・もくせい会館  
日程 十一月十四日

（二十一世紀委員会・小鹿苑  
増田 信）

先日久しぶりに町を歩いた。行き交う人の足並みは一様に早く、私は祖父母に近い年齢の方にさえ抜き去られることに驚きを感じた。皆、そんなんに急いで何処へ行くのだろう？ 急いで行かなければ間に合わない約束もあるのだろうか？

確かに私も業務に従事している時には自分の歩幅で歩くことはない時間が、休日は本来の自分の歩幅に戻している。誰に合わせるでもなく、のんびりと。周りからは「若いのに年寄りみたいだね。」とも言われるが、私はのんびり歩くことが好きである。いや、正確には好きになつたのかもしれない。これは、ある人生の先輩から教えられた俳句の影響ではないかと思う。

『よく見ればナズナ花咲く垣根かな』  
誰が詠んだ句かはまでは伺つてはないのだが、日々の雜踏の中で見落としているものはないかと考えさせられる句である。忙しさに身を委ねることなく、ゆっくり歩けば普段見落としていた所にも新たな発見があるものである。現代人は感性に乏しいとも言われるが、心に余裕がないだけに実は気付かないだけなのかもしれない。

歩幅

# 新加入施設紹介

平成15年7月1日現在

特別養護老人ホーム

## グリーンヒルズ東山

平成15年2月1日開設  
浜松市大山町2958-1  
入所定員 90名



特別養護老人ホーム

## いちごの里

平成14年9月16日開設  
田方郡伊豆長岡町北江間45-1  
入所定員 70名



特別養護老人ホーム

## あかいしの郷

平成13年8月1日開設  
榛原郡中川根町徳山1620-1  
入所定員 50名



特別養護老人ホーム

## 南風

平成15年4月1日開設  
浜松市倉松町593  
入所定員 50名



特別養護老人ホーム

## 西貝の郷

平成14年12月20日開設  
磐田市西貝塚2111-1  
入所定員 80名



特別養護老人ホーム

## 久能の里

平成14年6月1日開設  
静岡市根古屋289-1  
入所定員 50名



軽費老人ホーム

## ケアハウス 和み苑

平成14年4月1日開設  
沼津市大平1538-1  
入所定員 30名



特別養護老人ホーム

## ディアコニア

平成15年5月1日開設  
袋井市山崎5902-167  
入所定員 50名



特別養護老人ホーム

## みぎわ園

平成15年4月21日開設  
富士市今泉2210  
入所定員 80名



軽費老人ホーム

## 大井川睦園ケアハウス

平成15年6月15日開設  
志太郡大井川町高新区2326-63  
入所定員 30名



特別養護老人ホーム

## 北上の郷

平成15年5月1日開設  
三島市徳倉1148-2  
入所定員 50名



特別養護老人ホーム

## 有度の里

平成15年5月1日開設  
静岡市清水長崎新田311  
入所定員 50名



# 部会報告

## 特養部会

**★施設長研修** 七月九日に愛知県津島市にあるケアハウス「陽だまりの里」の視察研修を十六施設の出席で行いました。百名の定員中七十名を特定施設経営しており、随所に特定施設のための工夫がなされており大変参考になりました。

翌十日には施設長会を開催し、十五年度の施設長会と職員研修の各当番施設を決めました。

## 養護部会



## 二十一世紀委員会

\*二十一世紀の福祉サービスの構築に寄与することを目的として若手経営者等で構成された新設委員会です。

六月九日に初顔合わせを行い、七月一日に開催した第二回目の委員会では各委員が持ち寄った事業計画案を検討し、これらを基に急速に具体的活動に入ることになりました。

## 企画調査研修委員会

\*五月十四日に開催された委員会において平成十五年度の事業計画の協議を行いました。その結果、これまで年一回発行しておりました

平成十五年度事業は、現場職員のリスクマネージメント研修と養護版ケアプランを実施している神戸市の先進施設での現地研修を計画しました。

## 編集委員紹介

三重野隆志（特養・小鹿苑）：委員長  
斎藤文彦（特養・高原荘）  
山中康義（特養・静光園）  
薩川広明（養護・松風荘）  
宮地彬（養護・北遠荘）  
高田美根子（軽費・富士見ヶ丘いこいの園）  
宮岸孝一（軽費・アドナイ館）

編集企画への御意見や原稿などは上記委員又は県老施協事務局まで。

編集後記

機関紙「しづ老施協」を一層充実させるため、編集委員会を設け、編集委員により年三回程度発行することになりました。

- 機関紙を情報発信・収集の場に活用しよう。

（杉）

## 経営対策委員会

\*六月十六日に県の岡本博夫介護サービス室長を囲んで懇談会を行いました。（①ユニットケアに向けての対応②特養民間参入問題③養護・軽費の将来方向④会計処理方法その他当面施設が抱えている諸問題について活発な意見交換が行われ大変有意義な会合となりました。

- この紙面が施設に携わる皆様とのかけ橋になるよう願う。（美）
- 原稿のご協力をいただいた皆様に深く感謝申し上げます。（康）
- 会報は会員をつなぐ重要な手段です。皆様のご協力を願う。（文）
- 各施設のユニークな行事を教えてください。（広）
- 各施設の様々な情報、皆様のお手元までお届けします。（孝）